

News Clip

& AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



昨年の文部科学大臣賞（最優秀賞）から

■平成24年度全国自作視聴覚教材コンクールに123作品が応募

日本視聴覚教育協会主催、文部科学省後援による標記コンクールの今年度の参加作品は、123作品。内訳は、小学校部門（幼稚園を含む）42作品、中学校部門15作品、高等学校部門6作品、社会教育部門60作品。8月中に審査が行われ、本誌9月号誌上で発表、表彰式および上映会は、平成24年9月14日（金）、東海大学校友会館（千代田区霞が関3-2-5）において行われる。

文部科学省情報

■ 子ども霞が関見学デー

子ども霞が関見学デーは、子どもたちが親の職場を見学すること等を通して、親子のふれあいを深め、広く社会を知る機会とするため、文部科学省を中心に始まった取り組みであり、24府省庁等が職場見学や業務説明等を実施する。

〈日程〉平成24年8月8日（水）・9日（木）

〈対象〉全国の小・中学生（原則として保護者同伴）

〈内容〉各府省庁（内閣府・文部科学省・総務省・財務省・警察庁他）ごとの特色を生かし、子どもたちを対象に、さまざまプログラムを一斉に実施。当日は、子どもたちの興味にあわせて霞が関を自由に歩くことができるよう、参加者には各府省庁等のプログラムと地図が入った「日本国霞が関子ども旅券」（パスポート）を配布する。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kengaku/

〈問い合わせ先〉文部科学省生涯学習政策局生涯

学習推進課民間教育事業振興室

TEL 03-6734-2092（直通）

AV情報

■ 第3回国際科学映像祭

良質な科学映像コンテンツを広く紹介し、あわせてコンテンツや技術開発に関わる人々の情報交換及び科学映像クリエイターの発表の場として、「科学でつながる」をテーマに、国際科学映像祭実行委員会主催により、標記映像祭が開催される。

〈日程〉平成24年8月1日（水）～9月30日（日）の61日間。会場により、日程は異なる。

〈場所〉日本国内の科学館・プラネタリウム館、シアターなど53施設。

〈内容〉科学映像上映、スタンプラリー、サイエンスフィルムカフェ&ワークショップ、ドームフェスタ等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://image.sci-fest.net/ja/outline.html>

〈問い合わせ先〉自然科学研究機構国立天文台天

文情報センター内国際科学映像祭実行委員会事務局
TEL 0422-34-3802(受付：平日火～金10:00～17:00)

研究会情報

■ 第37回教育システム情報学会全国大会

「知と学びの絆—教育システム技術をつなぐ人と社会」をテーマに、教育システム情報学会では、標記全国大会を開催する。

〈日程〉平成24年8月22日(水)～24日(金)
〈会場〉千葉工業大学(千葉県習志野市芝園2-1-1)
〈内容〉講演、公開フォーラム「ソーシャルメディアが創り出す学習・教育環境の光と影」、ワークショップ等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.jsise.org/taikai/2012/index.html>
〈問い合わせ先〉教育システム情報学会第37回全国大会実行委員会 千葉工業大学仲林研究室
MAIL jsise-desk@bunken.co.jp

■ 日本教育情報学会第28回年会

「教育情報デジタル化の課題と展望」をテーマに、日本教育情報学会では、標記年会を開催する。
〈日時〉平成24年8月25日(土)10:00～17:15・26日(日)10:00～16:15(受付9:30～)
〈会場〉聖徳大学(千葉県松戸市岩瀬550)
〈内容〉基調講演「デジタルデバイスは紙に勝てるか」講演者：赤堀侃司氏(白鷗大学教授)、シンポジウム「デジタルデバイスの変革は、教育にどのような未来をもたらすか」、課題研究発表、一般研究発表等。参加費・申し込み等、詳細は、下記を参照のこと。

<http://jsei.jp/nenkai28/program.html>
〈問い合わせ先〉日本教育情報学会第28回年会実行委員会・聖徳大学木下研究室内
TEL 047-365-1111(大学代表)

■ 第19回日本教育メディア学会年次大会

日本教育メディア学会では、教育とメディアをめぐる現状と展望を見据えた研究発表や企画による標記年次大会を開催する。

〈日時〉平成24年8月31日(金)13:00～17:30(受付12:00～)・9月1日(土)9:30～17:00(受付9:00～)
〈会場〉東北学院大学土樋キャンパス(仙台市青葉区土樋1-3-1)

〈内容〉特別対話「これからの教育メディアと学びのデザイン」久保田賢一氏(関西大学教授)、

鈴木克明氏(熊本大学大学院教授)、シンポジウム「近未来の教育メディア環境と授業実践」、課題研究等。参加費・申し込み等、詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.zundanet.co.jp/jaems2012/>
〈問い合わせ先〉東北学院大学教養学部教育学準備室 MAIL jaems2012@ina-lab.net

コンクール情報

■ 平成24年度[第16回]文化庁メディア芸術祭作品募集

文化庁メディア芸術祭実行委員会(文化庁他)は、優れたメディア芸術作品を顕彰し、発表の場と鑑賞の機会を提供する標記芸術祭開催にあたり、各部門の作品を募集している。

〈募集部門〉○アート部門、○エンターテインメント部門、○アニメーション部門、○マンガ部門
〈応募条件〉平成23年9月23日から平成24年9月20日までの間に完成、または発表された作品が対象。詳細は、下記を参照のこと。

<http://j-mediaarts.jp/>
〈募集期間〉平成24年9月20日(木)必着。
〈賞・贈呈式〉部門ごとに、大賞(文部科学大臣賞)1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品を選定。各賞に、賞状、トロフィー、副賞を贈呈。平成25年2月12日(火)に贈呈式。受賞作品展は、平成25年2月13日(水)～2月24日(日)国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)において開催予定。

〈問い合わせ先〉文化庁メディア芸術祭事務局 CG-ARTS協会内 TEL 03-3535-3501(受付：平日10:00～18:00)

■ 2012年度「こころを育む活動」募集

(公財)パナソニック教育財団では、子どもの「こころを育む活動」として、優れた事例を支援し、紹介する全国運動を展開しており、全国各地で実践されている活動を募集している。

〈応募できる活動〉団体または個人が行う子どもたちの「こころを育む活動」で、下記の3つの工夫のいずれかが認められること。①進める工夫(活動の対象や目的が明確で、進め方における工夫・努力がある)②広げる工夫(ネットワークを作り、活動を広げるための工夫・努力がある)③続ける工夫(活動を継続するための仕組み・工夫がある)。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.kokoro-forum.jp/zenkoku/bosyu2012.html>
 〈賞〉 全国大賞（表彰状・楯・賞金100万円）、
 ブロック大賞（表彰状・楯・賞金30万円）、奨励賞、
 個人賞等。

〈締切〉 平成24年9月28日（金）17:00

〈応募書類送付先及び問い合わせ先〉（公財）パナ
 ソニック教育財団「こころを育む総合フォーラム
 全国運動事務局」宛 〒105-0001東京都港区虎
 ノ門1-1-10第2ローレルビル6F

TEL 03-5521-6100

各地の情報

■ 第14回広島国際アニメーションフェスティバル
 アニメーション芸術の発展を通じた国際異文化
 交流を促進しながら、映像メディア文化の振興・発
 展に寄与する標記フェスティバルが、広島国際ア
 ニメーションフェスティバル実行委員会、広島市
 他主催により開催される。

〈日程〉 平成24年8月23日（木）～27日（月）

〈会場〉 アステールプラザ（広島市中区加古町
 4-17）

〈内容〉 コンペティション（公開審査）、平和の
 ためのアニメーション、子どものためのアニメー
 ション、エデュケーショナル・フィルム・マーケ
 ット、展覧会、ワークショップ等。詳細は、下記
 を参照のこと。<http://hiroanim.org/>

〈問い合わせ先〉 広島国際アニメーションフェス
 ティバル実行委員会事務局 TEL 082-245-0245

■ 第24回すかがわ国際短編映画祭

広く映像文化に対する理解を深めるとともに、
 地方文化の振興と国際文化交流を推進することを
 目的に、すかがわ国際短編映画祭実行委員会、須
 賀川市、須賀川市教育委員会主催により、標記映
 画祭が開催される。

〈日時〉 平成24年9月1日（土）・2日（日）
 10:00～17:00

〈会場〉 須賀川市文化センター大ホール（福島県
 須賀川市牛袋町11）

〈内容〉 国内外26作品上映。特別ゲスト：平林
 勇氏（第62回ベルリン国際映画祭特別表彰受賞
 監督）。詳細は、下記を参照のこと。

<http://yagi-building.com/sisff/>

〈問い合わせ先〉 すかがわ国際短編映画祭事務局
 須賀川市教育委員会文化・スポーツ課内

TEL 0248-88-9172

文部科学省選定作品

■ 6月選定 〔紙〕紙しばい／〔ビ〕ビデオ／〔D〕DVD

特選「流ながれ」〔D〕85分〈中学校・高等学校、
 理科／青年・成人、教養・情操（自然科学）〉村上
 浩康

「まってるのだあれ」〔紙〕8枚〈幼稚園／幼児、教養〉
 （株）童心社

「はえとりぐものはっちゃん」〔紙〕12枚〈幼稚園・
 小学校（低学年）／幼児、教養〉（株）童心社

「むしむし村の交通安全」〔D〕12分〈幼稚園・小学
 校（低学年）、特別活動／幼児、地域社会生活（交
 通安全・防犯）〉東映（株）

「むしむし村の防災訓練」〔D〕12分〈幼稚園／小学
 校（低学年）、特別活動／幼児、地域社会生活（災
 害予防・対策）〉東映（株）

「ブッククラブ大好き『どこがおもしろかった？』
 〈小学校（低学年）、国語）』『同『どんなことを考え
 た？』』〈小学校（中学年）、国語）』『同『どこが印
 象に残った？』』各〔D〕30分〈小学校（高学年）、国
 語〉（株）映学社

「どう守る？自分の命 東日本大震災から教えられ
 たこと」〔D〕22分〈小学校（低・中・高学年）、特
 別活動〉（株）映学社

「生きる行動 生きる備え 東日本大震災の教訓」
 〔D〕22分〈中学校・高等学校、特別活動〉（株）映学
 社

「五目ではん—私たちの生きる道—」〔D〕61分〈中
 学校・高等学校、特別活動／青年・成人、国民生
 活（その他）〉今村彩子

「こころの病と向きあう」〔D〕25分〈高等学校、公
 民／青年・成人、地域社会生活（人権）〉東映（株）

放送番組

「ティーンズプロジェクト フレ☆フレ」

Eテレ（金）18:55～19:25 再放送（土）
 12:00～12:30※都合により番組内容変更有。

〈8月のテーマから〉○アンコール「被災地へ入
 浴剤を届ける工作系男子 すべての仮設住宅に『入
 浴剤』を!」、○アンコール「夢はお笑い部!落語
 少年 中学校に『お笑い研究部』を作りたい!」番
 組詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.nhk.or.jp/teens/index.html>